

会 議 名	第3回港区放課GO→クラブほんむら運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年10月17日（月曜日）午後3時50分から午後5時40分まで
開 催 場 所	麻布地区総合支所 第1会議室
委 員	出席者 6名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員、山村委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 宇野、本多、今本
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区放課GO→クラブほんむら運営事業候補者選考委員会 会議録 事業者A プレゼンテーション資料 事業者B プレゼンテーション資料 参考資料 第一次審査（書類審査）集計表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 （事務局より本日のスケジュールについて説明）
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査について （事業者Aによるプレゼンテーション実施）
委員長	それでは、ヒアリングに入ります。

A委員	<p>提案資料の職員体制についてお伺いします。施設長含めて常勤職員3名、あとは非常勤職員という配置となっていますが、全員学童クラブ担当と記載されています。放課GO→への職員配置は想定されていないのでしょうか。</p>
事業者A	<p>提案資料には、学童クラブ担当職員と記載していますが、常勤職員の3名のうち2名が主に学童クラブ担当、1名が主に放課GO→担当と考えています。</p>
A委員	<p>提案資料の職員配置について、責任者が平日も学校休業日もシフトに入っているようですが、お休みはあるのでしょうか。</p>
事業者A	<p>記載しているのは責任者がいる日を想定した職員配置です。責任者が不在の場合は、常勤職員が責任者として勤務します。しっかりと休みが取れるように振休等で対応することを考えています。</p>
A委員	<p>もう1点お伺いします。御社にお任せした時に、一番御社が優れてるところを教えてください。</p>
事業者A	<p>私たちは、日本全国で300箇所以上の施設を運営していますので、スケールメリットがあります。一番大きな力は、人の力だと思っています。信頼できる施設長と本部が一体となって運営できることが、我々の強みです。例えば、研修等の情報を本部が提供し、施設長が自分の施設に適するように運用しています。</p>
B委員	<p>自主性を尊重した育成を心がけている点が素晴らしいと思いました。 新型コロナウイルス感染症対策で、子どもたちの自主性を尊重し、主体性を育むような工夫をされている点を具体的に教えてください。</p>
事業者A	<p>基本的な手洗いうがいを徹底することを大事にしています。その中で、手洗いラリーなどを実施して、子ども達が自分で新型コロナウイルス感染症対策に取り組むことができるように工夫をしました。</p>
C委員	<p>先ほどのプレゼンテーションの中で、質の高い教育、質の高い職員とお話しされましたが、御社において、質の高い教育、質の高い職員というのは、どのようなものと認識されていますか。</p>
事業者A	<p>職員自ら、子どもたちのために何ができるか、どうやったらよい育成になるかというのを考えることができる人材のことを、質の高い人材と捉えています。そのために、本部からは研修等を提供し、責任者だけが指揮をとるのではなく、職員それぞれが意見を出し合い、どういった育成、どういった放課GO→ほんむらにしていけるのが良いのか考えることができる体制を整えています。</p>

C委員	港区は、配慮を必要とする児童が非常に多いと思いますが、御社で配慮を必要とする児童を育成するにあたり、他社との違いや力を入れている点がありましたら、教えてください。
事業者A	臨床心理士等の専門職員が社内に在籍しているので、定期的に施設を巡回し、子どもの様子だけではなく、職員の関わり方についてもアドバイスをすることができます。新型コロナウイルス感染症まん延時も、オンラインを活用してアドバイスを行い、子どもたちや職員の不安を取り除くことができました。
C委員	実際に効果がありましたか。
事業者A	過去の事例では、職員から見ると手がかかる児童がいたのですが、専門職員より、その子は視覚的な情報に刺激を受けやすいというアドバイスを受け、眼鏡のおもちゃを使うような遊びを指導員が考えたところ、かなり落ち着きがみられたということがありました。それを保護者に伝え、眼鏡を買ってくださり、その後も落ち着いて過ごすことができるようになりました。
C委員	プレゼンテーションの最後に、自己肯定感という言葉を出された理由を教えてください。
事業者A	会社の理念で、子どもたちの笑顔のために何ができるのかを考えるというものがああります。笑顔のために私たちが何をやるかだけでなく、子どものやりがいや達成感をサポートしていきたいという気持ちがあり、自己肯定感という言葉を使わせていただきました。
D委員	施設長候補者にお伺いします。提案では、常勤職員3名、非常勤職員6名という体制でしたが、年齢や経験、勤務形態等が異なる職員をまとめていく上で、心掛けていることや注意していることがあれば教えてください。
事業者A	入社時に本社で入社時研修等があり、年齢や経験が違う職員が入ってきても、育成に入る前に基礎を押さえ、人によって育成の仕方が違うということがないように心掛けています。 また、私は年齢や経験に関係なく、違うところは違うと伝え、できているところはしっかりありがとうと言葉で伝え、職員のやる気を出していくことを注意しています。
D委員	プレゼンテーション資料に記載のある4つの重点目標は、施設長候補者が選択されたと伺いましたが、目標設定のポイントを教えてください。
事業者A	育成の中で、大事にしていきたいと考える方針であり、決心をまとめまし

	<p>た。施設長候補者として、放課GO→クラブほんむらをどう考えるのかということにフォーカスを当てて検討した内容を集約したものが、4つの重点目標となっています。</p>
D委員	<p>本部の方に欠員時の対応についてお伺いします。新型コロナウイルス感染症で職員が出勤できなくなった場合に、本部から応援職員を出して対応した等の事例がありましたら教えてください。</p>
事業者A	<p>一昨年くらいが一番ピークだった時に、保育園や学童で閉園や閉室が相次ぎ、職員の休みが重なることがありました。その際には、まずは本部の資格を持つ職員がバックアップで入って対応をしました。</p> <p>また、保育園では、自治体と協議をして、職員体制の現状と、安全な見守りが担保できない可能性があるということを保護者の方にご理解いただくために通知文を出させていただいた事例があります。</p>
E委員	<p>本部の方にお伺いします。港区内でも施設を運営されていると思いますが、港区の施設の特徴や地域特性などがありましたら、いくつか挙げていただきたいです。</p>
事業者A	<p>港区は、外国籍の方が多いというのが一番の特徴だと思っています。人口動態でみると11%強の方が外国籍ということで、そこが一つ注意している点であり、ビジネスチャンスでもあると考えています。例えば保育園では、英語でのリトミックなどの取組を増やしています。</p>
E委員	<p>施設長候補者にお伺いします。外国籍の方が11%強いる中で、子どもや保護者に対して配慮していることがありましたら、教えてください。</p>
事業者A	<p>外国籍の子どもたちには、同じ空間の中で同じ経験をさせてあげたいという考えがあります。同じイベントの中でも、英語対応などの配慮をしています。</p>
E委員	<p>英語の配慮以外に、何かありますか。</p>
事業者A	<p>現施設では、日本語が分からない中国籍の児童がいるので、職員も身振り手振りで気持ちを伝える工夫をして育成をしています。</p>
E委員	<p>提案の中で自主性と自由を尊重した育成という説明がありましたが、異学年交流について、工夫していることがあれば教えてください。</p>
事業者A	<p>大会系のイベントを一緒に行うと、高学年が強くて低学年がやりたくないになってしまうので、大会系のイベントは学年別にして、低学年でも活躍でき、表彰される場を作るようにしています。また、高学年には工作系のイベントのお手伝いや大会系のイベントの審判をしてもらい、一緒に低学年のサ</p>

	<p>ポートをすることで、楽しみが感じられるような育成をしています。</p>
F 委員	<p>本部の方に職員給与について、お伺いします。責任者の給与が、かなり低い印象を受けます。本当にこの金額で、責任者としているのでしょうか。また、この金額で務まるのでしょうか。</p>
事業者 A	<p>北海道から沖縄まで施設運営をしているので、その平均額で出している金額です。そのため、23区内では施設長の給与もそれなりに高くなります。給与を上げないと採用できないという現実もありますので、職務等級と処遇をリンクする形で進めています。</p>
F 委員	<p>施設長候補者にお伺いします。プレゼンテーション資料の中に「保育園で培われた力を子どもたちが自分自身で高める・解放するための支援」とありますが、この解放するという意味を教えてください。</p>
事業者 A	<p>保育園で培ってきた子ども達の協力する力や特性を学童で発揮できる場をつくるという意味です。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。 (事業者A退席)</p> <p>(事業者Bによるプレゼンテーション実施)</p>
委員長	<p>それでは、これからヒアリングに入ります。</p>
A 委員	<p>職員配置について、お伺いします。責任者を含めて常勤職員4名と非常勤職員で運営されるということですが、責任者がお休みの時の責任者の役割はどなたが担うと考えていますか。</p>
事業者 B	<p>サブリーダーが、責任者不在時の責任者となります。</p>
A 委員	<p>働いている方の中で、サブリーダーを決めているということですね。学童クラブの専任職員とは別の職員でしょうか。また、経験年数で決まるのでしょうか。</p>
事業者 B	<p>学童クラブの専任職員が、サブリーダーになることもあります。組織の中で、港区での経験なども考慮して決定します。</p>
A 委員	<p>様々な施設を運営されていると思いますが、放課GO→クラブほんむらを運営するにあたり、御社の強みや一番力を入れているところを一つあげてください。</p>

事業者B	<p>私たちは、本部が非常に現場に近い距離で、施設の状況をしっかりと理解し、マネジメントをしていくことを一番に心掛けています。本部の施設担当者は、最大4～5施設程度の担当に抑えており、週に一度は施設に訪問ができるようにしています。本部と施設が一体となり、児童及び保護者のみなさまにサービスを提供することができます。</p>
B委員	<p>施設長候補者にお伺いします。とても具体的に熱意を持って語られているのが印象的でした。自分の強みとそれを発揮できるような工夫がありましたら教えてください。</p>
事業者B	<p>育成にあたり、自分も子どもと一緒に楽しむことを大事にしています。楽しいと感じながら育成を行っている、子どもや他の職員にもその気持ちが伝わると考えています。</p> <p>また、学校やPTAとの関係性をとても大事にしています。保護者対応等は、丁寧すぎると言われることもありますが、関係性の強さが自分の武器だと思っています。</p>
B委員	<p>新型コロナウイルス感染症対策で、子どもたちの主体性を育むようにどのような工夫をしていますか。</p>
事業者B	<p>現施設では、新型コロナウイルス感染症まん延時でも、子どもたちのやりたいことを実現させてあげたかったので、参加人数や実施日数、実施場所等を調整して、できる工夫をしてプログラム等を実施してきました。</p> <p>子どもたちの主体性の工夫については、例えば、校庭から戻ってくる時の手洗いコースは、子どもたちから消毒液の置き場所について、声が上がったものを取り入れるなどしています。</p>
C委員	<p>プレゼンテーション資料に、児童主体の遊びや体験で自主性を育むとありますが、具体的に教えてください。</p>
事業者B	<p>現施設では、リクエストボックスというものを設置しています。例えば、折り紙の使用可能枚数を増やして欲しいとか、1年生でも時間が見やすいデジタル時計にして欲しいといった意見が入り、それを取り入れたりしています。リクエストスポーツというプログラムでは、リクエストボックスにやりたいスポーツを投函してもらい、その中から遊ぶスポーツを決めています。</p> <p>また、今年度から子ども会議というプログラムを始めました。参加した子どもたちで、やりたいプログラムや工作等を話し合い、それを職員がサポートし、形にしていくプログラムです。今月末には、子どもたち発案のハロウィンクイズ大会を実施する予定です。</p> <p>このように、子どもたちからやりたいものを発信してもらえよう取組を行っています。</p>
C委員	<p>港区には、配慮を必要とする児童が多くいます。本村小学校には、特別支</p>

	<p>援学級もありますが、配慮が必要な児童に対して、御社の対応で他社と違うところ、強みや実際にやっていることなどがありましたら教えてください。</p>
事業者B	<p>当社では、支援児対応経験が豊富なスーパーバイザーが本部におり、支援児対応についての研修にも力を入れています。また、施設長候補者自身も支援児対応の経験があります。学校との関係性が強みと、先ほどお話ししましたが、児童が混乱しないように学校と情報を共有し、同じ対応をするよう心掛けています。</p>
C委員	<p>3つのCの話をしていましたが、3つのCとは何ですか。</p>
事業者B	<p>チャンスとチェンジとチャレンジという3つの精神です。毎年職員や児童がチェンジするので、職員が得意を活かしたプログラムにチャレンジすることで、児童が自分の得意や好きなものに気付く機会を得るチャンスになるといいなと思っています。</p>
D委員	<p>施設長候補者にお伺いします。責任者として7年の経験があるということですが、年齢や経験、勤務形態の違う職員をまとめていく上で気を付けていること、心掛けていることがあれば教えてください。</p>
事業者B	<p>例えば、指導や注意をしなければいけない時は、アドバイスに付け加える形で、ここまでは良いんだけど、もっとこうしたら良くなるかもといった言い方で話をするよう気を付けています。どうしても指導が必要な時は、2人だけの時に伝えるように心掛けています。また、職員間でたわいもない話をするこも、職場の雰囲気づくりのためには大事だと思っているので、日常の雑談も大切にしています。</p>
D委員	<p>安全な児童の下校について、4方向の送りコースを提案されていますが、どのような経緯で決められたんですか。</p>
事業者B	<p>本村小学校の周辺は、道が入り組んでいて、坂が多く、一方通行の箇所もありましたので、地図で示させていただいた箇所まで送るのが、児童の安全に繋がると考えました。見えにくい角の先や、車の通りが少なくなる場所などを考慮しています。</p>
D委員	<p>施設長候補者が提案されたものなのでしょうか。</p>
事業者B	<p>本部と施設長候補者で現地を確認し、このように提案させていただきました。</p>
D委員	<p>本部の方に、欠員時の対応についてお伺いします。新型コロナウイルス感染症で、職員が出勤停止になってしまい、業務継続が厳しい時期があったと思いますが、その時に具体的にどのような対応をされたか教えてください。</p>

事業者B	<p>体調不良や新型コロナウイルス感染症に罹患したといった情報は全てエリアマネージャーを通じて本部にメールで届きます。それを毎朝取りまとめて、社内で施設ごとの過不足を確認しています。不足しているところには、要員が確保できている施設から応援を回しています。特に施設長が休みの場合は、スーパーバイザーやエリアマネージャーが応援に出る形をとっていました。</p>
E委員	<p>本部の方にお伺いします。港区内で4施設運営されていると思いますが、職員のモチベーション向上のための具体的な取組を教えてください。</p>
事業者B	<p>港区内で複数施設の運営をしているため、港区の地域性を知っていることが強みとしてあります。子どもや保護者、地域住民の特徴を研修や合同ミーティングで共有し、子どもたちの放課後を豊かにするための取組を複数施設で話し合えることがメリットだと思っています。</p> <p>モチベーションの向上については、研修の中で、受け身だけでなく、自ら考え発信することを大事にしています。例えば、外国籍の児童が多いという港区の地域特性を活かして何ができるかを考え、世界のおやつを提供したり、世界のゲームをやってみたりしました。新しいものを学ぶことに対して、支援員はとても前向きに捉えていますので、モチベーション向上に繋がっていると思います。</p>
E委員	<p>施設長候補者にお伺いします。地域との連携について、具体的にどのような交流を考えていますか。</p>
事業者B	<p>例えば、地域の高齢者の方を伝承遊びや囲碁・将棋などの講師としてお招きすること、子ども中高生プラザの行事やプログラムに参加することなどでの交流を考えています。地域のお祭りなどでも交流をし、何ができるのか模索しながら、関係性をつくっていきたいと思います。</p>
E委員	<p>保護者とのコミュニケーションについて、連絡帳や面談など、具体的にやっていることを教えてください。</p>
事業者B	<p>現施設では、1年生は全員お迎えで、2年生以上は一人帰りもできます。そのため、1年生は、塗り絵の塗り方が以前よりとても上手になったこと、外遊びで、みんなのことを考えてチーム分けをしてくれたことなど、1日の様子を具体的に直接伝えていきます。一人帰りになると、保護者と話す機会がほとんどないので、些細な怪我やトラブルでも、連絡ノートだけでなく電話でこまめに連絡を入れるなど、丁寧な対応を心掛けています。</p>
F委員	<p>プレゼンテーション資料で、異学年交流で低学年と高学年が互いの表現やアイデアを認め合える、創造性豊かな関わりを大切にしますとありますが、具体的にどのような取組をするのか教えてください。</p>

事業者B	<p>低学年と高学年がクイズ大会や伝言ゲームと一緒に遊ぶ時に、高学年が答えを出したときに低学年はさすがとなりますが、意外と低学年がひらめくことも多く、そうすると高学年がそれもいいねとなります。このように、お互いを認め合いながら、そういう手もあるんだと気付くような、創造性を育む取組をしていきたいです。</p>
委員長	<p>それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。</p>
事務局	<p>議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明</p> <p>事業者Aは、1, 836点満点中1, 284点で、加点項目分を除く得点率は71.0%という結果です。</p> <p>事業者Bは、1, 836点満点中1, 407点で、加点項目分を除く得点率は77.5%という結果です。</p>
委員長	<p>それでは、この点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。</p>
A委員	<p>私は、事業者Bを高く評価しました。事業者Bは、本村の地域特性をよく理解し、計画も具体性がありました。特に、児童の下校ルートがよく考えられていて、安全対策、危機管理についてきめ細やかな対応が期待できると思いました。施設長候補者は若いですが、子どものことをよく理解されていて、工夫して運営をされている印象を受けました。本部と現場の関係性も密接で、一緒になって放課GO→クラブを良くしていこうと考えている姿勢が感じられました。</p> <p>一方、事業者Aは、提案の具体性が欠けていると感じました。また、職員配置について質問した時に、本部の方の説明が曖昧で不十分であったこと、施設長候補者が少し心許ない印象を受けたことから、点数を下げています。</p>
B委員	<p>私も事業者Bの方が、全体的に安定感があり、提案の具体性を感じました、施設長候補者の姿勢も評価できると思いました。提案書に記載されていた内容がすぐに出てこなかったのは少し残念でした。事業者Aも悪くはないですが、提案の具体性が弱いと感じました。</p>
C委員	<p>事業者Aは、本村小学校の取組を理解し、受け入れた提案となっていると感じました。事業者Bは、港区で4校の経験があり、施設長候補者の対応もしっかりとしている印象を受けました。正直、どちらも良いと感じたのであまり点数の差はつきませんでした。</p>
D委員	<p>私は、事業者Bを高く評価しました。事業者Bは、本部の支援体制がしっかりしていて、現場との役割分担が良くできている印象を受けました。また、</p>

	<p>提案にあたり、学校や地域のことを研究し、よく準備がされていると感じた点も評価しました。施設長候補者は、積み重ねた経験で自信をもって対応されているところが印象に残りました。</p>
E 委員	<p>私も事業者Bを高く評価しました。施設運営については、本部のバックアップ体制がしっかりしており、職員の育成も工夫されている印象を受けました。事業提案については、麻布子ども中高生プラザやありすいきいきプラザとの交流、地域のお祭りへの参加といった具体的な内容となっていた点を評価しています。施設長候補者については、自分も楽しむという言葉が一番響きました。明るくハキハキしていて、経験に基づいた回答ができていた点を評価しました。</p>
F 委員	<p>事業者Aは、プレゼンテーションは素晴らしく、提案は良かったのですが、地域性と具体性に欠ける印象を受けました。一方で、事業者Bは、しっかりと地域性を把握し、具体的な安全対策が示されていました。地域との関係づくりもよく考えられていて、本部と現場の連携もとれている印象を受けました。そして、施設長候補者が、状況をきちんと把握してプレゼンテーションができていたので、事業者Bを高く評価しています。</p>
委員長	<p>各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますか。</p>
A 委員	<p>事業者Aの評価を修正します。 1の施設運営の姿勢・考え方を10から15に改めます。 4の施設長候補者の考え方・能力等を10から15に改めます。以上です。</p>
委員長	<p>事務局から今の点数変更を踏まえて点数の発表をお願い致します。</p>
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。 事業者A 合計点数 1,294点 得点率71.6% (加算項目分除く) 事業者B 合計点数 1,407点 得点率77.5% (加算項目分除く)</p>
委員長	<p>よって、港区放課GO→クラブほんむら運営事業候補者は事業者Bでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区放課GO→クラブほんむら運営事業候補者は、事業者Bに決定いたします。 事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p>
事務局	<p>港区放課GO→クラブほんむら運営事業候補者として決定した事業者Bにつきましては、株式会社プロケアでございます。</p>

	3 閉会
--	------